

# 令和元年度 経営発達支援計画 事業評価報告書

経営発達支援事業の実施期間

(平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 2 月 29 日)

岩瀬管内商工会広域連絡協議会

- ・岩瀬商工会
- ・長沼商工会
- ・大東商工会
- ・天栄村商工会
- ・鏡石町商工会

## 【評価基準】

- A：実施され効果が見られたもの
- B：実施され効果が期待できるもの
- C：実施されたが効果が見られないもの
- D：実施されなかった、実施されたが回数等が大幅に目標を下回っているもの

実施内容と自己評価

評価委員による評価

1. 地域の経済動向調査に関すること【指針③】

●計画概要

地域小規模事業者から巡回訪問によるデータ収集を行うことで経済動向調査を実施する。  
本調査で得られたデータは岩瀬商工会 HP 内において随時公開し事業者へ周知する。

●実施内容

1. 地域経済動向調査事業

①中小企業景況調査

- (1) 実施日 第1期6月1日、第2期9月1日、第3期11月15日、第4期3月1日
- (2) 調査数 15事業所（製造業5、建設業3、小売業3、サービス業4）
- (3) 内容 管内15事業所を対象に景況感や経営課題などを職員による巡回訪問により定期的（四半期ごと）に調査し、集計データは地域経済情報として提供した。
- (4) 調査項目 売上額、前年同期との項目別景況状況、設備投資状況、経営上の問題点

②事業承継ヒアリング調査

- (1) 調査数 管内商工会員事業所 296社
- (3) 内容 事業承継支援体制の強化と支援ニーズの掘り起こしを行うため、事業承継に関する現状について調査し、その結果を集計し活用した。
- (4) 調査項目 後継者候補の存在、承継の意思伝達の有無、具体的な準備の有無、事業の譲渡売却に関する事項、事業承継における相談先

●自己評価

▼中小企業景況調査の実施により管内事業所の景況を全国数値と県内数値と比較することで経済動向分析概況を把握できた。全業種において前年比で横ばい又は低下傾向にあり厳しい経営環境が続いている。経営課題としては、昨年に引き続き「従業員の確保難＝熟練技術者の確保難」の回答が多くみられ、当地域においても製造・建設分野を中心に人手不足が深刻な問題になっている。働き方改革の対応についての支援を通じた人手不足解消も必要である。小売業は「購買力の他地域への流出」が経営課題との回答が多く、競合他社との差別化を含めた販売促進について引き続き支援を行う。

1. 地域経済動向調査事業

	A	B	C	D
評価	0	8	1	0

（評価委員によるコメント）

▼製造・建設業界における、人材確保の課題は全国的なものであり、昨年に引き続き、岩瀬管内も例外ではないことが改めて明らかになりました。一般的に人手不足の解消のキーワードは、高齢者、女性、外国人の活用と言われておりますが、それぞれの働き手の様々なニーズに応えることについては困難でもあることから、情報提供をスタートとした積極的な支援体制が必要となると思われまます。

▼「購買力の他地域への流出」を多くの小売事業者が経営課題としてあげています。地域小売店の強みを再定義し、より地域密着を中心とした販売戦略も原点回帰で必要ではないかと思われまます。

▼事業承継の課題に関してこれまで296社からのヒアリング調査を完了し

▼平成 30 年 8 月から継続してきた事業承継ヒアリング調査は最終的に 296 社からの回答を得た。現時点で後継者候補が存在すると回答したのは 101 社 (34.1%)。承継候補者に、会社を託す意思を明確に伝えている 78 社の内、相談先として商工会と回答したのは 41 社 (52.6%) であった。後継者候補がいないと回答したのは 191 社 (64.5%)。その内、親族内や役員・従業員の中で後継者候補が存在せず、事業の売却や譲渡などの候補がいないと回答したのは 160 社 (54.1%) あり、自分の代で廃業となりえる後継者不在企業という調査結果であった。事業承継への課題は各社様々である。本調査では事業承継に対する意識と現状が把握できた。

**【経済動向調査企業数】**

	令和元年度 (目標)	令和元年度 (実績)
岩 瀬	7	5
長 沼	9	3
大 東	7	2
鏡石町	17	4
天栄村	10	3
合 計	50	17

ており大変有用なデータであると思われます。その中で全体の約 64.5%が後継者不在となっていることは憂慮すべき事態といえます。

地域の活力を失わないため、将来性を見込める事業に関して、第三者承継や M&A も視野に入れた様々な可能性を検討する段階が近づいてきています。

なお、後継者候補が存在する事業者に対して、承継後も事業が円滑に推進できるように早い段階から、本計画においても実行されている経営革新計画支援による事業の磨き上げを行っていくことは重要となります。

▼事業承継という繊細な話題に関して事業者の問題提起を行う際は、日頃からの信頼関係を築いておく必要があると思われます。

▼経済動向調査数においては目標を大きく下回っておりますが、課題の抽出は的確に行われていることから一定の評価はされるものと考えます。

実施内容と自己評価

評価委員による評価

**2. 経営状況の分析に関すること【指針①】**

●計画概要

「ネット de 記帳」活用による経営分析の他、金融斡旋相談や各種補助金申請の際に、巡回訪問、セミナー、個別相談会において経営分析を行い経営資源の「強み」を洗い出し経営計画策定に繋げる。

●実施内容

①「ネット de 記帳」による経営分析支援

商工会経理システム「ネット de 記帳」等の活用により、比較貸借対照表や月別売上実績表、経営分析レーダーチャートなどを基に経営の弱点を把握し、事業者にあった経営支援のアドバイスを行った。

岩瀬	長沼	大東	鏡石	天栄	合計
28社	5社	13社	12社	17社	75社

②小規模事業者経営状況分析事業

各種補助事業、創業、金融等の支援において以後の経営計画を策定するにあたり、「経営資源」「強み」「弱み」「事業機会」を洗い出し、個社の進むべき方向性と戦略課題を導きだした。

- ・国・県等補助事業計画支援における経営状況分析 33社
- ・経営力向上計画等の国制度活用における経営状況分析 23社
- ・中小企業新事業活動促進法（経営革新）における経営状況分析 20社
- ・創業および金融支援、その他における経営状況分析 10社

岩瀬	長沼	大東	鏡石	天栄	合計
34社	23社	2社	15社	12社	86社

2-(1) 経営分析講習会の開催

	A	B	C	D
評価	3	3	3	0

2-(2) 経営分析企業数

	A	B	C	D
評価	8	1	0	0

(評価委員によるコメント)

▼税務申告に関しては適正な税額計算が目的である一方、経営分析に関しては今後の経営への活用といった異なる目的があります。

しかしながら、両者ともに実現するためには「適正な会計の知識を持ち、適切なタイミングで記帳を行うこと」が不可欠です。

▼昨年度の課題であった経営分析講習会の開催に関して、広域で行われたことは評価されます。

管理会計の知識習得により、若手経営者の今後の経営に関する意思決定に有用なものとなるため、更なる事業者への周知を進めることが重要となります。

## ●自己評価

▼経営分析講習会は、単独での開催は出来なかったが経営計画作成個別相談会を開催することで、経営分析も同時に支援することができた。また、売上利益アップ塾への参加勧奨により、新たな取り組みによる経営革新計画承認を目指す若手後継者を発掘することができた。来年度の経営分析講習会については要望等を踏まえて開催について検討していきたい。

▼経営計画策定および各種補助事業申請の際に経営分析を実施した。専門家も活用しながら分析することで、経営課題などをヒアリングにより引き出すテクニックを学ぶ機会となった。分析数は目標を大幅に上回った。

### 【経営分析講習会の開催】

	令和元年度 (目標)	令和元年度 (実績)
岩 瀬	1	0
長 沼	1	0
大 東	1	0
鏡石町	1	0
天栄村	1	0
広 域	2	5
合 計	7	5

### 【経営分析企業数】

	令和元年度 (目標)	令和元年度 (実績)
岩 瀬	7	62
長 沼	9	28
大 東	7	15
鏡石町	10	27
天栄村	17	29
合 計	50	161

▼経営計画及び補助事業申請は、事業者が自身の事業を理解し、文言に落とし込むチャンスになります。事業者自身で強みの見える化から経営資源の把握、経営課題へのアプローチができるような支援を継続して頂くことを期待します。

実施内容と自己評価

評価委員による評価

**3. 事業計画策定支援に関すること【指針②】**

●計画概要

経営状況分析の結果を踏まえ、抽出された自社の「強み」を徹底的に強化し磨き上げる。

- ①経営計画作成セミナー・個別相談会の開催による事業計画策定支援
- ②創業セミナーの開催

●実施内容

①経営計画セミナー（売上利益アップ塾）

- (1) 開催日 令和元年7月10日(水)、17日(水)、24日(水)、31日(水)
- (2) 場 所 鏡石町コミュニティーセンター
- (3) 受講者 27事業所
- (4) 内 容 経営計画作成に向けての意欲向上、個別相談への誘導をはかるための集団指導
- (5) 講 師 中小企業診断士 綿貫有二 氏

②経営革新計画作成個別指導会

- (1) 開催日 令和元年7月31日(水)～11月5日(火) 実施回数53回
- (2) 場 所 相談事業所 13社 [個別指導]
- (3) 内 容 経営革新申請における経営計画作成支援 10社【申請承認】

③経営計画策定個別相談会

- (1)開催日・場所
  - 開催日 令和元年6月18日(火) 場所 長沼商工会
  - 開催日 令和元年6月19日(水) 場所 大東商工会
  - 開催日 令和元年6月20日(木) 場所 岩瀬商工会
  - 開催日 令和元年7月16日(火) 場所 長沼商工会
  - 開催日 令和元年7月17日(水) 場所 大東商工会
- (2)参加者 20事業所
- (3)内 容 持続化補助金申請に係る、経営計画及び補助事業計画策定相談

3－(1)

経営計画セミナー・個別相談会の開催

	A	B	C	D
評価	7	2	0	0

3－(2)

経営計画策定支援企業数

	A	B	C	D
評価	8	1	0	0

3－(3)

経営革新支援件数

	A	B	C	D
評価	8	1	0	0

3－(4)

各種補助申請企業案件発掘数

	A	B	C	D
評価	7	2	0	0

3－(5)

創業セミナーの開催

	A	B	C	D
評価	5	3	1	0

#### ④事業承継計画作成個別指導会

- (1)開催日 令和元年8月1日(木)～11月5日(火) 実施回数9回  
(2)参加者 3事業所  
(3)内 容 事業承継に関するヒアリング調査結果に基づき事業承継を予定しているものの具体的な取り組みができていない事業所を対象に、専門家派遣による個別指導を実施した。

#### ⑤目指せ起業家！創業塾

- (1)開催日 令和元年9月11日(水)、12日(木)、18日(水)、19日(木)、25日(水)、26日(木)、  
10月2日(水)、3日(木) 全8回  
(2)場 所 鏡石町コミュニティーセンター  
(3)受講者 11名  
(4)内 容 既存の創業塾に副業やセカンドキャリアを目指す方をターゲットに加えることで、創業を考える潜在的予備軍の掘り起こしを図った。新たに先輩创业者の創業事例研究をカリキュラムに組み込み実施した。  
(5)講 師 中小企業診断士・税理士 鈴木龍京 氏  
(株)日本政策金融公庫郡山支店融資担当者、先輩创业者2名

#### 3-(6)

##### 创业者発掘及び創業計画策定企業件数

	A	B	C	D
評価	7	2	0	0

(評価委員によるコメント)

▼経営計画策定支援に関して、セミナーにおける集客の成果を個社支援の充実に繋がられていることが、数値からも明らかであり、本事業の効果をみる事ができます。経営革新計画に関して、経営革新の内容の実践と成果を利益に繋げるべく商工会としてモニタリングを充実させることを目指して頂くことを期待します。

▼補助金支援事業に関しては、これまでの持続化補助金、ものづくり補助金に加え、水害関連補助金の申請における支援は事業の早期復旧に向けて大変重要な役割となっていると評価されます。

▼創業支援においては、新たな潜在的創業希望者の発掘のために平日夜間に開催されましたが、新たな創業希望者需要が開拓された点は評価できます。

## ●自己評価

▼経営計画セミナーは事業者が分かり易く関心の高いテーマで4年目の継続実施。

セミナーでは経営計画の必要性を意識付けし、その後の個別支援に繋げるスキームが確立できてきている。過去3年間、非常に参加者が多かった反動もありセミナーの参加者集めに苦慮した面があった。

▼経営計画策定個別相談会は計画策定セミナーの参加者から13社が申し込み、この内10社が経営革新計画申請に取り組み承認となった。福島県全体で毎年30～40社の承認数であり当地区は多くの承認を出す事ができた。2年連続で10件以上という大きな成果を得ることができた。

### ①【経営計画セミナー・個別相談会の開催】

	令和元年度 (目標)	令和元年度 (実績)
岩 瀬	1	26
長 沼	1	17
大 東	1	4
鏡石町	1	4
天栄村	1	2
広 域	9	9
合 計	14	62

### ②【経営計画策定支援企業数】

	令和元年度 (目標)	令和元年度 (実績)
岩 瀬	7	24
長 沼	9	18
大 東	7	4
鏡石町	10	9
天栄村	17	1
合 計	50	56

### ③【経営革新支援件数】

	令和元年度 (目標)	令和元年度 (実績)
岩 瀬	2	5
長 沼	3	3
大 東	2	1
鏡石町	4	1
天栄村	2	0
合 計	13	10

▼持続化補助金申請をきっかけとして、経営計画策定個別相談会を実施し、経営分析から経営計画及び補助事業計画策定を支援した。その結果、多くの事業所が経営計画を策定し、持続化補助金についても採択を得ることができ販路開拓につなげることができた。

- ・持続化補助金：25 件申請（21 件採択）
- ・ものづくり補助金：5 件採択（3,628 万円）
- ・台風 19 号型持続化補助金：6 件申請（6 件採択）
- ・グループ補助金：11 件申請支援中

④【各種補助申請企業案件発掘数】

	令和元年度 (目標)	令和元年度 (実績)
岩 瀬	4	10
長 沼	4	5
大 東	4	18
鏡石町	7	12
天栄村	6	4
合 計	25	49

▼創業塾は近年、参加者が減少傾向にあったため、開催日を週末日中から平日夜間に変更して実施した。週末仕事で今まで参加できなかった方や日中勤めの方など 11 名の参加があり、昨年比べて参加者を増やすことができた。参加者が増えたことで情報交換なども活発に行われ有意義なセミナーとすることができた。

⑤【創業セミナーの開催】

	令和元年度 (目標)	令和元年度 (実績)
岩 瀬	1	1
長 沼	1	1
大 東	1	1
鏡石町	1	1
天栄村	1	1
合 計	5	5

⑥【創業者発掘及び創業計画策定企業件数】

	令和元年度 (目標)	令和元年度 (実績)
岩 瀬	2	2
長 沼	2	1
大 東	2	1
鏡石町	3	6
天栄村	2	3
合 計	11	13

実施内容と自己評価

評価委員による評価

**4. 事業計画策定後の実施支援に関すること【指針②】**

●計画概要

広域巡回等を活用し、複数の指導員でチームを編成し客観性を持ちながら、4半期に1回以上の頻度で事業計画策定後のPDCAサイクルの進捗度のチェックを行う。また、小規模事業者の磨き上げた「強み」を伝える技術向上を行うため、必要な助言・指導を実施し、経営者の持続的発展できるよう支援する。

●実施内容

①経営革新承認企業計画実行支援事業

(1) 計画実行グループ支援（集団指導）

(第1回)

開催日 令和元年8月1日(木) 参加者 10事業所  
 内 容 フォローアップ個別プログラムと動画プロモーションについて

(第2回)

開催日 令和元年11月5日(火) 参加者 10事業所  
 内 容 各社動画プロモーションの視聴と共有。動画の活用方法としてQRコードの作成方法やSNS活用による情報発信について事例を交えて紹介した。  
 ※HP、YouTubeで公開 <https://iwase-pr.com/>

(第3回)

開催日 令和2年1月22日(水) 参加者 14事業所  
 内 容 令和元年度新たに経営革新計画の承認を得た事業所と過年度承認を得た事業所を対象に実施。参加者同士で交流を図りながらモニタリングとしても機能させることで計画実行のモチベーションアップに繋げた。

4- (1)

事業計画策定後のフォローアップ企業数

	A	B	C	D
評価	3	6	0	0

4- (2)

創業支援フォローアップ企業件数

	A	B	C	D
評価	5	4	0	0

(評価委員によるコメント)

▼経営革新計画を形骸化させないためのフォローアップは大変重要となります。本取組は、革新計画の内容を改めて動画で撮影する等の魅力あるメニューとなっていると思われます。売上、利益への効果は今後の課題となると思われますが、より管理会計、財務会計の見識を深め、計画内のアクションプランに対する数的インパクトをより具体化させるような支援方法の構築も検討する必要があるかと思えます。

(2) 計画実行個別支援（個別指導）

実施日 令和元年8月2日(金)～10月29日(火) 実施回数35回

場 所 相談事業所 10社 [個別指導]

内 容 プロモーション動画の撮影と、立案した行動計画の確認、それを実行するための課題を抽出し実行に向けたアドバイスを行った。また、事業継続力強化計画策定についても合わせて支援した。専門家の支援だけでなく、各職員は日々の巡回訪問を通して立案した行動計画の確認、それを実行するための課題を抽出して、実行できるよう支援を行った。

②創業支援のフォローアップ

創業者については、各支援分野においてきめ細かな計画策定の支援を行いながら開業及び開業後の安定経営に向けてフォローアップを行った。また、補助金の活用等について情報提供を行った。

③事業継続力強化計画策定支援

フォローアップ支援の一環として、防災・減災の事前対策に関する計画を経済産業大臣が認定する事業継続力強化計画の策定を支援した。(1月末現在13件が認定)

●自己評価

▼経営革新承認企業計画実行支援事業は専門家を交えグループ支援と個社支援を織り交ぜながら実施した。当管内では毎年多くの承認企業を輩出している強みがあることから、承認企業を一つのグループとして支援し、専門家からの実行に関する全社を横断した情報提供、事業者同士が進捗状況の情報共有や各種相談を行える場の提供することでフォローアップすることができた。また、承認企業同士の交流からビジネスに繋がった事例もあった。

【事業計画策定後のフォローアップ企業数】

	令和元年度 (目標)	令和元年度 (実績)
岩 瀬	7	5
長 沼	9	11
大 東	7	4
鏡石町	10	4
天栄村	17	1
合 計	50	25

▼創業支援のフォローアップに関して、フォロー内容は多岐にわたりますが、融資、会計等のフォローが必要となってくるケースも多く出ています。また、経営資源がより乏しい創業直後の事業者に対して、優先順位を明確化させることが重要と思われれます。特に売上計画を起点に支援されていることは大変評価できると考えます。

▼計画的に支援を行っていたが、最終の動画撮影の時期に台風 19 号による被害や業務繁忙の影響で撮影に至らない事業所がいくつかあった。

▼フォローアップ企業数は目標未達であったが、経営革新計画承認企業に特化しフォローアップした経緯もあり、フォローアップ延件数は 260 件と丁寧且つ効果的なフォローアップ支援ができた。

▼創業者のフォローアップでは、創業塾の参加者の他、記帳指導等を中心に日頃の巡回訪問等を通して継続した支援を行った。

**【創業支援フォローアップ企業件数】**

	令和元年度 (目標)	令和元年度 (実績)
岩 瀬	2	2
長 沼	2	1
大 東	2	1
鏡石町	3	6
天栄村	2	3
合 計	11	13

実施内容と自己評価

評価委員による評価

5. 需要動向調査に関すること【指針③】

●計画概要

将来の予測と今後の方向性に必要となる地域の経済状況と需要動向の調査・分析を広域支援体制により行う。事業計画書に迅速に反映、小規模事業者の強みである機動性を活かせるよう情報を整理・提供する。

●実施内容

経営計画策定支援を通して実施。

●自己評価

▼アンケート等は行うことができなかったが、需要動向調査は経営計画策定支援において、市場、商圈、消費者ニーズ等を調査し経営分析を行う形で実施し、計画策定までの一体的な支援を行うことができた。

5- (1) 経済動向・需要動向調査

	A	B	C	D
評価	6	2	1	0

5- (2)

消費者アンケート・需要動向聴取調査

	A	B	C	D
評価	0	1	2	6

(評価委員によるコメント)

▼経営計画策定支援において、外部環境の調査分析を行い、地域及びターゲットの需要動向を把握することがスタートとなります。事業者の行動計画が適切に策定できる形で本調査を活用することを期待します。

5- (1)

【経済動向・需要動向調査企業数】

	令和元年度 (目標)	令和元年度 (実績)
岩 瀬	7	24
長 沼	9	18
大 東	7	4
鏡石町	17	9
天栄村	10	1
合 計	50	56

5- (2)

【消費者アンケート・需要動向聴取調査数】

	令和元年度 (目標)	令和元年度 (実績)
岩 瀬	5	0
長 沼	5	0
大 東	5	0
鏡石町	5	0
天栄村	5	0
広 域	5	0
合 計	30	0

実施内容と自己評価

評価委員による評価

6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関する事【指針③】

●計画概要

小規模事業者の持つ経営資源と地域・観光資源の組み合わせにより、新商品・新生産方法・新販売方法（IT の活用）の開発を支援する。また本支援の中において地域の事業者間や農業者との連携（6次化）推進も図っていく。広域連携体制により福島県や全国商工会連合会等との連携及び施策を活用し、商談会、ビジネスマッチング等の出展支援を行い新たな需要の開拓をする。

●実施内容

①販路開拓支援

(1) 特産品 PR 事業

- ・日本橋ふくしま館 MIDETTE(ミデッテ)出店 ※鏡石町商工会事業

開催日 令和2年1月13日(月)・14日(火)

場 所 日本橋ふくしま館 MIDETTE(ミデッテ)

内 容 鏡石まちの駅「かんかんてらす」「観光協会」と連携し、販路開拓のため、日本橋ふくしま館 MIDETTE(ミデッテ)に出店を行い特産品のPRを行った。

- ・沖縄県北谷町での特産品 PR ※鏡石町商工会事業

開催日 令和元年11月9日(土)・10日(日)

場 所 沖縄県北谷町

内 容 特産品の販売によるPRを支援した。

- ・オートキャンプ世界大会での特産品PR ※天栄村・鏡石町商工会事業

開催日 令和元年9月28日(土)・29日(日)

場 所 エンゼルフォレスト

内 容 天栄村で開催されたオートキャンプ世界大会において、地域産品のPR販売を行い、販路開拓を支援した。

6- (1)

特産品開発個別指導・相談会の開催

	A	B	C	D
評価	1	4	4	0

6- (2)

物産展等出展支援件数

	A	B	C	D
評価	0	1	2	6

6- (3)

ITセミナー開催件数

	A	B	C	D
評価	8	1	0	0

6- (4)

ITセミナー参加企業数

	A	B	C	D
評価	8	1	0	0

## ② ITセミナーの開催

### (1) キャッシュレス決済対応セミナー

開催日 令和元年6月13日(木)・6月21日(金)  
場所 鏡石町コミュニティーセンター・天栄村山村開発センター  
参加者 30名(鏡石会場15名・天栄会場15名)  
講師 (株)ソーシャルスピーカー 代表取締役 久野雅己 氏

### (2) SNS活用・キャッシュレス決済セミナー

開催日 令和元年11月14日(木)  
場所 鏡石町コミュニティーセンター  
講師 (株)ソーシャルスピーカー 代表取締役 久野雅己 氏

## ③その他販路開拓に資する事業

### (1) 消費税軽減税率対策セミナー

開催日 令和元年5月28日(火) 場所 天栄村山村開発センター  
開催日 令和元年6月5日(水) 場所 長沼商工会  
開催日 令和元年6月11日(火) 場所 大東商工会  
開催日 令和元年6月19日(水) 場所 鏡石町コミュニティーセンター  
開催日 令和元年6月27日(木) 場所 鏡石町コミュニティーセンター  
開催日 令和元年7月2日(火) 場所 岩瀬商工会  
参加者 天栄11名 長沼8名 大東11名 鏡石21名 岩瀬11名 計62名  
講師 東北税理士会須賀川支部

### (2) 筆ペンPOP講習会

開催日 令和元年11月20日(水) 場所 鏡石町コミュニティーセンター  
参加者 17名  
内容 売場のPOPや案内表示、DM等顧客への販売促進活動において購買意欲を掻き立てる「筆文字POP」の書き方を実践的に講習を行った。  
講師 エルペプランナーズ 矢吹ちおり 氏

(評価委員によるコメント)

▼特産品の開発について、目標値を下回る結果になったものの、支援ノウハウの共有による今後の展開が見込められると思われます。そのためにも商工会の強みでもある、様々な事業者間の連携を促し、魅力ある商品づくりを目指して頂くことを期待します。

▼商談会や物産展出展の目的を明確に提示することがポイントと思われます。例えばどのような消費者情報を手に入れることが有用か等、事前に検討を行い、コミュニケーションを図って頂ければと思われます。

▼SNS等、ITを更に活用し、プレスリリース等に繋がるような取組を更に支援することが大変重要になると考えます。

受講事業者のITスキルのバラツキへの対応が課題となりますが、伴走型で粘り強く支援を行えるような仕組みづくりが肝要となります。

▼消費税軽減税率対策セミナーに関しては、開催日程が軽減税率適用の数カ月前であり、事業者自身の関心が高まらなかったことはありますが、来年度以降もインボイス制度導入に向けて、益々重要なテーマとなります。引き続き積極的な支援を期待します。

## ●自己評価

▼商談会や物産展出店については、今年度特に支援要望がなかったため、商談会等の情報提供のみを行った。今後も各事業所のニーズを把握し個別に必要な支援を行っていききたい。

▼10月の消費増税に伴い実施されたキャッシュレス決済及びポイント還元事業についてのセミナーを実施した。キャッシュレス決済導入に対して不安を抱える事業者も多く、テレビ等でも話題になっていた割に参加者は想定より少なかった。今後も引き続き個別に制度についての説明や導入方法について丁寧に説明していく必要がある。

▼2回のITセミナーの受講者から、より実践的な内容についての支援ニーズがあり、キャッシュレス決済、YouTube、SNSといった内容でミラサポを活用して専門家派遣による個社支援を行った。

### 【特産品開発個別指導・相談会の開催】

	令和元年度 (目標)	令和元年度 (実績)
岩 瀬	3	0
長 沼	3	0
大 東	3	0
鏡石町	4	2
天栄村	3	1
合 計	16	3

### 【物産展等出展支援件数】

	令和元年度 (目標)	令和元年度 (実績)
岩 瀬	2	0
長 沼	5	0
大 東	3	0
鏡石町	4	0
天栄村	6	0
合 計	20	0

**【ITセミナー開催件数】**

	令和元年度 (目標)	令和元年度 (実績)
岩 瀬	1	1
長 沼	1	1
大 東	1	1
鏡石町	1	3
天栄村	1	1
広 域	0	3
合 計	5	10

**【ITセミナー参加企業数】**

	令和元年度 (目標)	令和元年度 (実績)
岩 瀬	4	1
長 沼	5	7
大 東	4	4
鏡石町	6	21
天栄村	5	11
合 計	21	44

実施内容と自己評価

評価委員による評価

**7. 地域経済の活性化に資する取組**

●計画概要

須賀川市・天栄村・鏡石町各行政や地域経済関連団体等との懇談を通して、岩瀬地域の活性化に関する事業提案や方向性の検討を行う。

●実施内容

①行政及び地域経済団体等との懇談会

項目	回数	内容
須賀川市長と市内3商工会との懇談会	1回	小規模事業者を支援する仕組みの構築について首長と懇談した。
岩瀬管内市町村長と商工会正副会長等との懇談会	1回	小規模事業者を支援する仕組みの構築について首長と懇談した。
須賀川市長との懇談会	1回	市制報告を受け岩瀬地域の活性化策等について懇談を行った。

②他地域及び異業種との懇談会

項目	回数	内容
6団体交流会	1回	岩瀬管内の経済団体等青年6団体との交流により地域の活性化発展に貢献する事を目的に懇談を行った。

③原子力災害による風評被害対策の実施

項目	相談件数
原発事故に係る損害賠償請求個別相談会	0事業所
加工食品の放射能検査事業	6事業所 26回

**7. 地域経済の活性化に資する取組**

	A	B	C	D
評価	8	1	0	0

(評価委員によるコメント)

▼行政、地域経済団体との連携体制の構築は、地域活性化実現に向けて大変重要なポイントとなります。各地域イベントにおいて商工会の役割は非常に大きいものになりますので、引き続き地域貢献を担う役割を推進して頂くことを期待します。

#### ④地域の賑わいと事業所の物販等機会創出をはかるイベントの開催

	イベント名	内 容	来場者(人)
岩瀬	いわせ悠久まつり	物産販売・イベント・抽選会・花火大会	20,000
	開運花火	全国でも希少なつるし花火打上	200
長沼	長沼まつり	青森県以外では珍しい『ねぶた』祭り	35,000
	奇跡のあじさい感謝コンサート 音楽でつなぐ絆&ふれあい交流事業	震災復興イベント 物産販売	300
大東	ハナモモ観桃会	地域密着型イベント	130
	おおひがし夏祭り	物産販売・地域密着型イベント	300
	大東フェスティバル	物産販売・商工会主体・抽選会	1,300
天栄	てんえい商工祭	地域密着型イベント・物産販売・抽選会	2,000
	てんえい清酒で乾杯	全国一斉日本酒で乾杯・物産販売	336
鏡石	オランダ祭り	地域密着型イベント 国際交流	38,000
	ふるさと夏まつり	青年部が主催する夏まつり	5,000
	鏡石田んぼアート	地域密着型イベント 交流イベントあり	23,131
	きらきらアート(夜の田んぼアート)	地域密着型イベント	1,546

#### ●自己評価

▼各地域においてイベント開催により交流人口の拡大による事業機会の創出を図った。長沼商工会では「奇跡のあじさい感謝コンサート」を復興事業として実施した。鏡石町では「田んぼアート」が定着してきており、田んぼアートのイルミネーション事業などテレビ等でも取り上げられ話題となった。天栄村ではオートキャンプ世界大会に合わせて商工祭を実施し交流人口の拡大を図った。その他岩瀬、大東商工会においても継続事業として地域振興事業を行った。

実施内容と自己評価

評価委員による評価

**8. 経営発達支援計画事業の円滑な実施に向けた支援力向上の取組**

●計画概要

- ①他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換を行う。
- ②経営指導員及び経営支援員の資質向上を図るため、下記のとおり勉強会・研究会等を実施し、経営分析能力、事業計画作成、コミュニケーションのスキルアップを随時図る。
- ③毎年度、本事業計画の実施状況並びに成果について、事業の評価及び見直しを行う。

●実施内容

- ①日本政策金融公庫郡山支店とのマル経協議会において情報交換を行い、万全の金融支援を行った。
- ②職員個々の業務や職制にあわせ、福島県商工会連合会主催の研修会参加や経営支援マネージャー研修に参加するなど、自己研鑽を行った。
- ③専門家派遣事業及び専門家を講師としたセミナーでは、職員もプロの支援ノウハウ習得のため積極的に関わり、その後のフォローアップに役立てる知識、手法を学んでいる。
- ④外部有識者や各商工会から選任された会員事業者により事業評価検討委員会を開催し、事業の進捗状況についての報告と評価見直しの検討を図り、次年度の事業内容に反映させる。
- ⑤1年間の事業報告、事業成果については管内各商工会総会資料に記載し、全会員に配布して総会で報告する。事業実施案内及び事業成果は、岩瀬商工会ホームページ上でも公表する。

●自己評価

- ▼本事業の取組みは4年目。事業者の経営計画策定支援に重点を置いた各種事業は概ねスケジュールどおりに実行され支援スキームが確立され成果も上がってきている。今後も更に、事業承継、IT活用、働き方改革等についても支援充実を図る必要がある。
- ▼専門家による経営計画策定個別相談会や経営革新策定個別相談において、職員が同席することで専門家の経営計画策定のノウハウを学ぶことができ資質向上に繋がった。

8. 経営発達支援計画事業の円滑な実施に向けた支援力向上の取組

	A	B	C	D
評価	7	1	1	0

(評価委員コメント)

▼4年目であった本計画事業に関して、概ねスケジュール通りに実行されたことは評価できます。そして、多くの支援機関との連携が図られたこと、計画を遂行した方々を中心としたノウハウの蓄積が図られたことは大きな成果といえます。今後は、広域連携という組織上、資源の異なる地域間の橋渡し役を担い、相乗効果をもたらす中心的存在としての役割も担って頂くことで、小規模事業者の発展、地域活性化が加速化するものと期待します。また、昨年台風19号において甚大な被害を受けた当地域の復旧を早期に実現するため、各補助金の支援を継続することは重要となります。そして、今後の災害に備えるためにも事業継続力強化計画の策定支援の強化が求められます。

まとめ	評価委員委員長総括
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業実施4年目についても概ね目標を達成することができた。限りある人的資源を有効活用するため、事業計画策定及びフォローアップに特化して支援する現在のスキームが確立し、個社に寄り添った支援を行うことができている。2年連続で経営革新計画承認10件以上というのは非常に大きな成果であった。</li> <li>・経営計画策定支援の充実により、持続化補助金等の申請件数も増加させることができた。また、専門家と商工会職員が連携して個社支援を行うことでより効果的な支援を行うことができた。さらに計画策定後にはスムーズにフォローアップ支援に繋げることができている。</li> <li>・専門家を活用し一緒に支援を行うことで、商工会職員の支援ノウハウの向上に繋がっている。</li> <li>・昨年度、他地域に先んじて事業継続力強化計画策定支援を積極的に実施することができた。そうした最中に、昨年10月に台風19号により本地域も大きな被害を受け、防災・減災に備える本計画の重要性は増しており引き続き策定支援を行っていきたい。</li> <li>・実施できていない事業については、第2期計画策定の際にしっかり精査し見直しを行う必要がある。</li> </ul>	<p>4年目を迎えた令和元年度の経営発達支援計画事業においては、地域経済動向調査といった地域市場環境から、セミナーや個別相談会の開催といった、事業者に対する様々な支援メニューの実行、更には地域間、行政、経済団体間の連携や情報共有による地域活性化への貢献まで多岐にわたる事業を展開されました。</p> <p>本事業の成果は事業者の発展、地域経済の活力強化に繋がっていくものであり、本事業により商工会内に蓄積されたノウハウを様々な場面で活かすことが高度化する支援ニーズへの対応の観点から求められます。</p> <p>次年度は、引き続き、昨年の台風19号において甚大な被害を受けた当地域の復旧を早期に実現するため、各補助金の支援を継続することは重要となります。そして、今後の災害に備えるためにも事業継続力強化計画の策定支援の強化が求められます。</p> <p>上記に対応するための外部と連携した支援体制づくり、経営指導員、経営支援員のスキル向上が今後の課題となると思われます。本年度事業の実績を糧に更なる商工会事業推進を期待いたします。</p>

## 経営発達支援計画評価検討委員

### ○委員長

鈴木 龍京（有限会社パブリック会計 税理士・中小企業診断士）

### ○委員

渡辺 栄治（岩瀬商工会副会長）

半澤 悟（長沼商工会理事）

廣田 幸吉（大東商工会理事）

星 善一（天栄村商工会副会長）

小貫 豊彦（鏡石町商工会監事）

須田 勝浩（須賀川市商工労政課長）

橋本 喜宏（鏡石町産業課主任主査）

星 展弘（天栄村商工観光係長）

### ○オブザーバー

鈴木 健一（福島県商工会連合会中通広域指導センター所長・中小企業診断士）

## 評価検討委員会開催状況

### <第1回>

日時：令和元年11月11日（月）

場所：岩瀬商工会2階研修室

内容：令和元年度経営発達支援計画事業の実施状況について

### <第2回>

日時：令和2年2月19日（水）

場所：岩瀬商工会2階研修室

内容：令和元年年度経営発達支援計画事業の実施報告と事業評価について